



Title	教育改善部門 事業報告
Author(s)	
Citation	長崎大学大学教育イノベーションセンター紀要, 9, pp.47-51; 2018
Issue Date	2018-03-01
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10069/38528">http://hdl.handle.net/10069/38528</a>
Right	

This document is downloaded at: 2019-06-25T08:30:50Z

# 事 業 報 告

## 教育改善部門 事業報告

### 1. はじめに

教育改善部門は、全学教務委員会の評価・FD教育改善専門部会の下で、「学生による授業評価」および「長崎大学FD・SD」の事業を行っている。以下、その実施概要を報告する。

### 2. 『学生による授業評価』実施状況

#### 2.1 概要

長崎大学では、平成14年度から全授業科目を対象として『学生による授業評価』を実施している。その実施目的は、「学習に対する学生の自覚及び意欲を引き出すとともに、教員個人又は学部等による教育改善を図り、もって本学における教育の質の向上に資すること」にある。平成23年度からは学生による授業評価の実施方法を改善し、全科目ではなく各教員の希望科目（年1科目以上）について授業評価を行うこととし、3年間で、担当する全科目を網羅できるようにしている。また、原則として講義科目を対象とし、演習科目や実習科目等については、担当教員の任意で実施している。

#### 2.2 評価項目

評価項目は、『学生による授業評価』を総括的に捉える目的で、表1のような全学共通項目を設けている。（平成27年度前期までの7項目に加え、平成27年度後期より当該授業における授業外学習時間についての設問を設問8として追加した）この全学共通項目に加え、教養教育（1～2年次生）においては科目別追加項目を、専門教育においては部局別追加項目をカテゴリー（評価項目の集まり）として設定している。さらに担当教員は、授業評価毎に個別の追加項目を加えることもできるようになっている。

学生の選択肢は全ての設問に共通で表2のようになっている。

表1 全学共通項目

設問	
1	シラバスは、授業の目標や計画及び評価方法を適切に示していた。
2	授業は目的達成のため計画的に進められた。
3	授業担当者の教え方は適切であった。
4	授業担当者は、学生が質問や相談をしやすい環境・雰囲気作りを行った。
5	自分は、シラバスに記載された授業目標を達成することができた。
6	自分は、この授業によって学習意欲が喚起された。
7	総合的にみて、この授業は自分にとって満足できるものであった。
8	この科目で授業以外の週平均学習時間は（予復習やレポート、授業関連の読書、調べ物、試験勉強等を含む）

表2 学生の選択肢

設問1～7 ① そう思う ② どちらかといえばそう思う ③ どちらともいえない ④ どちらかといえばそう思わない ⑤ そう思わない
設問8 ①ほぼ0、②約1時間、③約2時間、 ④約3時間、⑤約4時間以上

#### 2.3 実施・評価結果

授業評価結果を平成23年度からは受講生限定、平成24年度からは学内限定、平成25年度からは学外公開へと順次公開の範囲を広げ、Webシラバス（以下、NU-Web）上で学外にも授業評価の結果を公開している。これは、授業評価項目のうち、全学共通項目の評価結果および、その結果を踏まえた教員のコメント（授業の総括、今後の工夫点・改善点）から構成されている。

全体の報告書に関しては、1年毎にまとめられ大学教育イノベーションセンターのHP上で閲覧できる。ただし、平成23年度からは学生による授業評価の実施方法の改善により、3年毎にまと

めている。

この「学生による授業評価」は平成28年度で終了し、平成29年度から学生自身の学修改善に力点を置いた「授業アンケート」に変更した。今年度は、「学生による授業評価」として、平成26年度～平成28年度の報告書を取りまとめた。学部およ

び大学院での実施状況は表3、表4に示す通りである。

平成26年度～平成28年度の3か年の「学生による授業評価」の経年変化および結果に対する各部署のコメントなどについては、学外にも公開している。

表3 平成26年度～28年度における学部での実施状況

年度		全科目数 (※1)	対象外科目数(※2)	対象科目数 (※3)	実施科目数	実施科目数/ 科目数
平成26年度	年度合計	5,272	2,265	2,982	1,233	41.3%
平成27年度	年度合計	5,197	2,035	3,162	1,323	41.8%
平成28年度	前期	2,686	986	1,700	786	46.2%
	後期	2,566	1,389	1,177	767	65.2%
	年度合計	5,252	2,375	2,877	1,553	54.0%
総計		15,721	6,675	9,021	4,109	45.5%

表4 平成26年度～28年度における大学院での実施状況

年度		全科目数 (※1)	対象外科目数(※2)	対象科目数 (※3)	実施科目数	実施科目数/ 科目数
平成26年度	年度合計	5,096	4,907	189	136	72.0%
平成27年度	年度合計	5,059	4,841	218	132	60.6%
平成28年度	前期	2,226	2,119	107	85	79.4%
	後期	3,108	2,990	118	75	63.6%
	年度合計	5,334	5,109	225	160	71.1%
総計		15,489	14,857	632	428	67.7%

※1 NU-Web に登録されている全科目数（受講者数が10人以下、未開講科目を含む）

※2 受講者が10人以下の科目、受講者数が登録されていない科目

※3 全科目数（※1）－対象外科目数（※2）

## 2.4 参考資料

- [1] 長崎大学公式ページ『大学点検・評価』→『学生による授業評価』:

[http://www.nagasaki-u.ac.jp/plan/pln\\_jug\\_hyoka.html](http://www.nagasaki-u.ac.jp/plan/pln_jug_hyoka.html)

- [2] 長崎大学大学教育イノベーションセンター公式ページ『授業評価』:

[http://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/overview/improve\\_education/TV\\_report.html](http://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/overview/improve_education/TV_report.html)

## 3. 平成29年に実施した長崎大学FD・SD

### 3.1 FD・SD スプリングワークショップ

#### (1) 趣旨

FD・SD スプリングワークショップは、本学の教職員が、授業改善や学生支援等において十分に持ち味を生かせるようになることを目指している。ニーズの高い内容を精選し、実践にすぐにつながる学習形態を取り入れており、次年度からの教育改善に効果が期待される。

#### (2) 対象

全教職員（非常勤を含む）

(3) 日時

平成 29 年 3 月 3 日（金）～3 月 7 日（火）

(4) 場所

長崎大学（文教キャンパス）

(5) 参加者数

57 名（延べ人数）

(6) プログラム

時間	内容	講師
<b>3 月 3 日（金）</b>		
10:30～ 12:00	初年次セミナー科目による事例報告	河本 和明 教授 （水産・環境科学総合研究科） 近藤 能子 助教 （水産・環境科学総合研究科） 山田 耕史 准教授 （医歯薬学総合研究科）
13:00～ 14:3	クォーター制導入の科目による事例報告	田中 浩二 助教 （医歯薬学総合研究科） 川越 明日香 助教 （大学教育イノベーションセンター） 波佐間 逸博 准教授 （多文化社会学部）
<b>3 月 6 日（月）</b>		
10:30～ 12:00	『基礎力テスト』報告会 -4 年間の総括-	松村 直樹 氏 石川 純一 氏 （株式会社リアセック）
<b>3 月 7 日（火）</b>		
10:30～ 12:00	授業で使える動画コンテンツ作成クリニック -Mac 版-	北村 史 助教 （大学教育イノベーションセンター）
<b>3 月 7 日（火）</b>		
13:00～ 14:30	Disability, Discrimination, and Reasonable Accommodations at Nagasaki University	Peter Bernick （障がい学生支援室）

**3.2 3 ポリシーに基づく入学から卒業までの一貫した教学マネジメントー学生の学修成果の把握・授業改善のための授業アンケートへー**

(1) 趣旨

今後の大学教育改革において、教育の質保証のための PDCA サイクルの確立は必須であり、3 ポリシー策定およびこのポリシーに基づく入学から卒業までの一貫した教学マネジメントが重要なポイントとなっている。このような中、本年度より、カリキュラム・ポリシーに基づいた学修評価を教育改善につなげていくことを目的とし、従来実施されている「授業評価アンケート」を見直し、学生の学修行動と学修成果を把握するために「授業アンケート」（学生による自己評価）を実施する。この研修では、本学の 3 ポリシーと教学マネジメントの概要と「授業アンケート」の趣旨などを理解し、今後の教育改善に生かすことを目的とした。

(2) 対象

全教職員（非常勤を含む）

(3) 日時

平成 29 年 4 月 3 日（月）13:30～15:00

(4) 場所

文教キャンパス 文教スカイホール

(5) 参加者数

63 名

(6) プログラム

時間	内容	講師
13:30～ 13:50	3 ポリシー策定に関して	星野 由雅 （教学担当理事）
13:50～ 14:10	教学マネジメントの概要	吉村 幸 （大学教育イノベーションセンター）
14:10～ 14:35	「授業アンケート」の概要	中島 ゆり （大学教育イノベーションセンター）
14:35～ 14:50	質疑応答	
14:50～ 15:00	フィードバックシート記入等	

### 3.3 長崎大学新任教職員ガイダンス

(1) 趣旨

平成 28 年 5 月以降に長崎大学に新たに赴任した教職員に対し、長崎大学が目指す教育、研究等に関する事項について説明し、今後の教育・業務に役立てる。

(2) 対象

平成 28 年 5 月以降に長崎大学に新たに赴任した教職員

(3) 日時

平成 29 年 4 月 4 日 (火)

(4) 場所

文教キャンパス 事務局 3 階 第 2 会議室

(5) 参加者数

28 名

(6) プログラム

時間	内容	講師
13:00～ 13:05	開会の挨拶	教学担当理事
13:05～ 13:45	「新任教職員へのメッセージ～長崎大学の課題と展望～」	片峰 茂 学長
13:45～ 14:00	質疑応答	
14:00～ 14:20	「教職員の組織と勤務時間と情報セキュリティ」	河野 茂 理事 (総務担当理事)
14:20～ 14:25	質疑応答	
14:25～ 14:45	「高大接続改革における入学者選抜について」	星野 由雅 理事 (教学担当)
14:45～ 14:50	質疑応答	
14:50～ 14:55	閉会の挨拶	大学教育イノベーションセンター
14:55～ 15:05	集合写真撮影	

### 3.4 FD・SD サマーワークショップ

(1) 趣旨

FD・SD サマーワークショップは、本学での教養教育や学生支援等における課題を共有し、後期からの教育改善にすぐに役立てられるよう、内容を精選して実施する集中研修である。日頃の実践を振り返り、より充実した大学教育につなげていくために、例年広く参加を呼びかけている。

(2) 対象

全教職員 (非常勤を含む)

(3) 日時

平成 29 年 9 月 5 日 (火) ～9 月 26 日 (火)

(4) 場所

長崎大学 (文教キャンパス)

(5) 参加者数

76 名 (延べ人数)

(6) プログラム

時間	内容	講師
<b>9 月 5 日 (火)</b>		
10:30～ 12:00	アクティブラーニングの問題点について考える	成瀬 尚志 准教授、 北村 史 助教、 前田裕介 助教 (大学教育イノベーションセンター)
<b>9 月 6 日 (水)</b>		
13:30～ 15:00	授業でホワイトボードを活用したときの効果について考える	成瀬 尚志 准教授、 北村 史 助教、 前田 裕介 助教 (大学教育イノベーションセンター)
<b>9 月 20 日 (水)</b>		
13:30～ 15:00	プレゼンテーションをいかにして学生の思考の活性化の手立てとするか	成瀬尚志 准教授、 北村 史 助教、 前田裕介 助教 (大学教育イノベーションセンター)
<b>9 月 21 日 (木)</b>		
13:30～ 15:00	宿題の出し方と宿題の授業での活用方法についての実践事例紹介	成瀬尚志 准教授、 北村 史 助教、 前田裕介 助教 (大学教育イノベーションセンター)

9月25日（月）		
10:30～ 12:00	合理的配慮の実践 とユニバーサルな 授業設計について	ピーター バーニック 助教 (障がい学生支援室)
9月26日（火）		
10:30～ 12:00	学生を思考にざ なうレポート課題 とは	成瀬 尚志 准教授、 北村 史 助教、 前田 裕介 助教 (大学教育イノベーシ ョンセンター)

#### 4. おわりに

本稿では、大学教育イノベーションセンターの教育改善部門が関わる2つの事業「学生による授業評価」と「長崎大学 FD・SD」について、平成29年の実施概要（「学生による授業評価」に関しては平成26年度～平成28年度）を報告した。

### 3-5 教学マネジメントに基づいたシラバス改訂とその作成要領について

#### (1) 趣旨

平成28年度に全学および各学部において3ポリシー（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー）の整備を行った。この整備に伴い、シラバスシステムの改修およびシラバス記載項目についての変更があった。本FDでは、本学の新しい教学マネジメントの考え方および新たに整理された項目に関し、大学教育イノベーションセンターの教員から情報提供するとともにシラバス作成の支援を行った。

#### (2) 対象

全教職員（非常勤を含む）

#### (3) 日時

平成29年11月7日（火）～11月9日（木）

#### (4) 場所

文教キャンパス ICT基盤センターセミナー  
ルーム

#### (5) 参加者数

27名

#### (6) プログラム

- ① 本学の教学マネジメントに関する確認
- ② 新シラバスの変更点
- ③ シラバスの作成要領
- ④ 質疑応答ほか

